

図書館だより

今月の絵柄：「ぼくだって、ウルトラマン」

よしながこうたく（講談社）



発行 滝上町図書館
電話 0158-29-3735

*当日は
サイン会を
行います。



場所 文化センター 視聴覚室

日時 7月31日（木）午前10時

きあげるライブペイントを行います。さて、滝上ではどんな作品が出来あがるでしょうか。仕上げりは、みなさんの参加にかかってきそうです。おとなから子どもまで楽しめます。夏休みの思い出にぜひ、ご参加ください。

あの「給食番長」の
作者・よしながこうたく先生が
滝上にやって来る！



カラフルで力強い筆致の絵でユーモアたっぷりのお話だけど、子どもの勇気や思いやりの心をじんわり描く人気の絵本作家・よしながこうたくさんが滝上にやって来ます。

当日は作者自身による絵本の読みきかせと会場に来たみなさんとおしゃべりしながら、描

図書館で Wi-Fi 飛んでいます

おそらく町内で唯一のWi-Fiフリーの場所です。無線でネットワークに接続でき、スマホやパソコンでインターネットをサクサク楽しめます。

夏休みに帰省するご家族から「インターネットを使える環境はどこ？」とたずねられたら、「図書館！」と教えてあげてください。



↑ 図1



↑ 図2



↑ 図3

図書館の新ホームページ



ついに、6月16日から図書館のホームページ（図1）が新しくなりました。ピコロがあしらわれており、とても可愛らしい感じですよ。そして、町のホームページにあるバナー（図2）も新しくなりました。こちらをクリックすると図書館のホームページにすぐ行けます。また、スマホや携帯電話のバーコードリーダーで読み込めば、すぐに図書館のホームページに行けるバーコード（図3）を作りました。どうぞご利用ください。

新 刊 案 内

(小説)

- ☆スペードの3
- ☆満願
- ☆忍者月輪
- ☆虚ろな十字架
- ☆語りつづける、届くまで
- ☆すべてわたしがやりました
- ☆微睡みの海
- ☆王朝小遊記
- ☆青玉の笛
- ☆願いながら、祈りながら
- ☆女のいない男たち
- ☆そして誰もいなくなる
- ☆それでも僕は夢を見る
- ☆ソナチネ
- (エッセイ)
- ☆風通しのいい生き方
- ☆男のおばあさん2
- ☆ごめんなさいといえる

- 朝井リョウ
- 米澤穂信
- 津本陽
- 東野圭吾
- 大沢在昌
- 南綾子
- 熊谷達也
- 諸田玲子
- 澤田ふじ子
- 乾ルカ
- 村上春樹
- 西村京太郎
- 水野敬也
- 小池真理子
- 曾野綾子
- 永六輔
- 三浦綾子

(その他)

- ☆伝える極意
- ☆秘境国
- ☆ニッポンの大問題
- ☆知らないと損する国からもらえるお金の本
- ☆「うまくいかないあの人」とみるみる人間関係がよくなる本
- ☆眼鏡・コンタクトレンズの選び方
- ☆おからダイエットレシピ
- ☆ママだって、人間
- ☆一流コーチのコトバ
- ☆4番打者
- ☆野菜の作業便利帳
- ☆TODAY'S BREAKFAST
- ☆老人漂流社会 NHK スペシャル取材班
- ☆お守り幸せ手帖
- ☆おじさんの哲学
- 長井鞠子
- アマナイメージズ他
- 池上彰
- 井戸美枝
- 青木仁志
- 坪井隆
- 家村マリエ
- 田房永子
- 松瀬学
- 掛布雅之
- 川崎重治
- 山崎佳
- 瀬戸内寂聴
- 永江朗

ふれあいひろば編集委員による

読書三得



『ショートストーリーな日々』

(ショートストーリーな日々実行委員会)

名古屋を舞台とした短編小説のコンテストです。有名な観光地はもちろん、あまり知られていない魅力的な場所や、日ごろ見かけている並木道、川、路地裏、公園など、自分だけのお気に入りの場所を舞台としたショートストーリーを募集した作品の中から、大賞と佳作が紹介されています。名古屋を舞台としたコンテストにもかかわらず

全国から応募が寄せられており、名古屋の街に愛着がある人たちが数多くいることをうれしく思います。なぜなら私も名古屋出身の一人だからです。ちなみに、コンテストは七回開かれています。名古屋の街はビルが立ち並ぶオフィス街や若者達でにぎわっている繁華街や地下街、懐かしい匂いがする商店街、中心地に広がる公園など、いろいろな顔を持っている場所で、いろいろな出来事が起きています。心温まるストーリーからその場所を思い浮かべながら感情移入してしまうストーリーまでいろいろなあり、名古屋という街を改めて知ってもらいたい一冊です。(I・O)

『はたらくるま みちをつくる』

はなもりまんと(教育画劇)

こちらは絵本である。

道を作る車が紹介されています。道を作る車たち、私は普段あまり見かけられることはなく、道路工事をしている時に通りすがりに見るくらいだった。しかし、子どもに何回も読んでいるうちにすっかり車の名前を覚え、見かけると「○○だよ！」と子どもと話しています。たくさん車の活躍で道路が作られていることがわかります。また、この本はその車の特徴をとらえていて、横に上下に大きく広がります。例えば、クレーン車ならば、上に伸びるので、上へ広がり迫力ある絵になっています。道を作る車が好きな子ども達、大人の方も大興奮間違いなしです。(I・O)